

令和4年度 第1回 楽寿園運営委員会 議事要旨

1 日 時 令和4年8月2日（火）午後1時30分～3時00分

2 場 所 市民文化会館 3階 第1会議室

3 出席者 委員 14名 アドバイザー1名

4 議事

(1) 会長 あいさつ

(2) 事務局 交代委員紹介

(3) 議事

※冒頭で、園内で新型コロナウイルス感染者が発生、対応したことを報告。

①楽寿園の運営状況

○令和3年度事業報告

・入園状況について

年間入園者数:令和3年度22万8,940人、令和2年度23万7,400人、昨年度比96.4%。

7月7日から10月29日まで約4カ月間にわたり小浜池満水。

・ハード事業

郷土資料館東側キュービクル修繕。

寄付金を活用し、アスレチック遊具1基増設。

・ソフト事業

皇室ゆかりの庭園ツーリズム協議会によるPRイベントを開催

・新型コロナウイルス感染関連

8月20日～9月30日 緊急事態宣言発令「臨時休園」。

1月27日～3月21日 まん延防止等重点措置発令「開園」（イベント中止）。

・園・外部主催各イベント 資料を用いて説明

○令和4年度事業予定

・入園者数目標

入園年間利用者数の目標30万人。

・年間入園者数の推移

平成30年度から直近の令和4年6月までの状況。グラフの11月の高い山は、菊まつり。続いて高い山の5月はGW、震災復興の一環で海産物を販売する山田港開運市やみしま花のまちフェアといった、市の大きなイベントがあり影響している。令和2年度8月の山は、9年振りに満水になった小浜池の満水効果によるもの。一方、入園者数が1万人にも満たない月はコロナの影響。令和3年度は、8月20日～9月30日の間、緊急事態宣言により臨時休園、1月27日から3月21日までのまん延防止等重点措置期間のイベントの休止等が影響。令和4年度は、これまで順調に推移しているので、年間30万人という目標値を達成できるよう進めていく。

・年間の入園料等の推移

入園料等の内訳は、公園入園料、遊具使用料、駐車場使用料、物品売払収入の合計、基本的に入園者数に比例して入園料も増減する。令和3年度は前年対比26万6,790円減、マイナス0.5%減少、平成30年度対比955万6,920円減。マイナス15.5%減少。

・平成30年度と令和3年度の歳入歳出比較

歳入 主な柱は公園入園料、入園者数の減少に伴い、30年対比633万円減少。

入園者数の増減に比例。大型遊具使用料、自動遊具使用料、駐車場使用料も同様。

歳出 人件費一般は、楽寿園の正規職員8名の人件費982万5,739円の増の要因として、職員の定期昇給分の増などに加え、令和3年度から正規職員が1名増による。

しかし、年間総時間外勤務時間は平成30年1,466時間に対し令和3年1,026時間に縮減。イベント開催事業では、菊まつりに係る経費を見直し、盆景では、ある程度高さがあつたものを平面化するなど、魅力を保ちつつ、原材料の縮減を図った。

会計年度任用職員、シルバー人材センター職員の人員数は変わらないが、人件費は、最低賃金の上昇、会計年度任用職員に移行により、単価アップ部分増加による。

イベント事業費補助金は、楽寿園内においてイベントを誘致するための補助金であったが、今日ではイベント主催者が自ら魅力的な様々なイベントを開催しており、補助金は一切使用していない。

○ハード事業

- ・キュービクル（受変電設備）接地抵抗修繕予定

○ソフト事業

- ・第70回楽寿園菊まつり 今年のテーマを、NHKの大河ドラマにあやかり、鶴岡八幡宮を菊の盆景で再現する予定。

○ボランティア

- ・楽寿園応援隊 会員44名、毎月1回、第3金曜日に園内除草等の定期的な清掃活動のほか、菊まつりではお客様をご案内されている。今後も活動を支援していきたい。

○三嶋大祭り

今年の三嶋大祭りは3年振り開催見込み。8月15日～17日 3日間開催し15日の月曜日は休園日だが臨時開園。浴衣で来園の方は入園無料であることをPRし、園としても三島最大のイベントである三嶋大祭りの盛り上げに貢献していきたい。

※意見・質問無し

②楽寿園の現況報告の説明

○5/17 レッサーパンダ導入

- ・横浜のズーラシアから広島のアサ動物園が借用していた個体が、繁殖に成功、それを借り受けた。レッサーパンダの系統は静岡の日本平動物園が一元管理。5月17日にアサ動物園から楽寿園に来園。SNSでも大変人気であるので、引続き情報発信していきたい。

○6/18 来園者数 2,300 万人達成

- ・昭和27年7月15日に楽寿園が開園して以来2,300万人となり、今年は開園70周年の記念の年に2,300万人が達成された。

○売店事業者決定

- ・売店事業者については、3月末までに、従前の出店者の管理運営が終了していたが、新たに募集をかけ、選考会を実施したところ7月5日からRAI4様によりオープン。

○7/10 開園記念感謝デー

- ・楽寿園開園当初から菊まつり開催協力の秋麗会に表彰状、会員には、感謝状を手渡した。令和元年に国の登録有形文化財認定された桜御殿を一般公開、所有者の委員のご協力と文

化財課職員の説明により、当日は募集人員20名のところ59名の参加があった。
緒明記念の森のオープンでは、平成28年度から街の森公園として供用開始していたが、開園70周年記念に合わせ、楽寿園用地として散策路の整備などを行い共用することとした。この地には溶岩流の冷え固まった姿やその上に根を張る樹木が大変多く見られることから、楽寿園の敷地の一部として大切に保存管理していきたい。
開園70周年記念として、三島市観光協会のみしま朝旅に合わせて楽寿園の一部を朝の時間帯、7時30分から8時30分までを試行的に開園する。
ターゲット層は、三島に訪れる観光客の方とし、三島のよさを知ってもらおうとするもの。職員の労働が発生するので、この状態で経常的に続けていくことは困難と考えている。今回の試行実施の結果、課題を検証して今後の対応を検討していきたい。

各委員から

○レッサーパンダ

- ・導入費用 ⇒ 借入費用は無料（輸送費、検査費用などは園負担）
- ・動物を増やしてもよいのでは ⇒ 大型動物から中小型動物にシフトしている。カピバラは非常に人気がある動物なので、今1頭いるが補充を検討していきたい。

○7/10 開園記念感謝デー

- ・緒明記念の森ガイドツアーと桜御殿の一般公開の今後の予定が無ければ、委員にも見せていただきたい。 ⇒ 次回、事務局で調整。

③楽寿園のPRについて

○会長

- ・ここ3年位はコロナで厳しい状況にある。

令和4年度は目標30万人、コロナ前の平成30年度の水準に向けて頑張っていくということ、より多くの人に知ってもらうためPRが一つのポイントになってくる。

毎週のようにイベントで埋まっていることは、外部のイベント主催者との連携が取れ、相互に役割分担ができた結果で、非常にいいことだと思う。

○園長

- ・楽寿園ではインスタグラムは令和元年度から実施。フォロワー数は3,866人。フェイスブックは平成29年度から実施し「いいね」数が3,121、ツイッターは令和2年度から実施、フォロワー数1,926人。園においてもイベントの急な案内やちょっとした話題を提供したときにはこの媒体を使う。楽寿園自体もこういったSNSを使いながら自らPRしていくことも大事だが、それ以外にも、例えば観光アンバサダーや移住アンバサダーに楽寿園をPRしてもらうことも考えている。楽寿園入園証を交付し、写真を撮ってUPしたり旬な話題をつぶやいてもらうことをお願いしていきたい。

各委員から

○朝開園

- ・今後について ⇒ 今日から試行のため今後PRに努めていきたいが、人的支援や必要経費の発生といったことを検証し考えたい。
- ・観光協会がPRしホテル宿泊客にもPRしているということだが、お客様にSNSでつぶやいてもらうこともPRになるのでは。 ⇒ 朝活事業自体がまだまだ浸透しきれていないので、まず、楽寿園、観光協会、商工会議所がうまく連携できれば、と思う。

○イベント

- ・PRは楽寿園発信か外部団体一任か。チラシ1枚の情報のみなので中身がわからない。これだけのイベント開催は並大抵のことではないのに、もったいない。
- ⇒ 場所貸しだと何をやるのか見えないところがある。今後できるだけわかりやすいイベントの情報発信に努めていきたい。
- ・公園使用料の値上げについて ⇒ 条例で定められているので、すぐには困難。

○割引券

- ・観光地に行くとホテルなどに割引券が置いてあるが楽寿園ではどうか。⇒ ホテルには割引券は置いていないが、子育て世帯優待カードや団体で割引が受けられる。

○宣伝

- ・市民向けか外部向けか、両方行なうでよいと思うがPRの方向性がはっきりしない。ポテンシャルはあるので、事業者にお金をかけてお願いしても良いのではないか。
- ⇒ 楽寿園は元々市民公園、市民招待券もあり市民サービスに重きを置いていたが、ここ数年観光客が増えてきた。コロナ禍で外に行けないがどこか連れて行ってあげたい方、園内でイベントを行いたい方、ともに増えてきており、その両立が必要。
- ・SNSをフォローにした人を売店で飲み物無料にするなどはいかがか。

○夜の開園

- ・朝もやるのであれば夜もやった方が良いのではないか。⇒ 以前ビアガーデンをやっていたがコロナでやっていない。タイミングを見て再開できれば。
- ・季節ごとのライトアップはいかがか。⇒ 菊まつり期間中9日間夜菊鑑賞で夜間開園。ホテルまつりでも多くの方が夜間来園。夜開園は人員配置、必要経費が掛かるのでハードルが高い。
- ・夜使いたいという要望を出している。夜間開園のイベントが増えるのであれば、溶岩を削る、保護するなど整備が必要では。⇒ 日中開園時の慣れたイベント主催者との夜間イベント開催で検証してみてもは。また、動物へのストレスの配慮も必要。
- ・夜間の開催エリアは。⇒ イベント広場中心。小浜池周辺は行っていない。

④楽寿園の寄付について

- 楽寿園の整備のために寄付をいただいている。梅御殿周りにかつて散策路、遊歩道があったと伺っているので、寄付者の意向に従い、直営にて整備を実施するため、係る原材料費に充てたい。9月議会上に上程し、歳出・原材料費として予算を組ませていただきたい。

⑤その他

会長

- PRの仕方やボランティアガイドとの連携をお願いしたい。ふるさとガイドの皆さんとの連携や、日本動物園水族館協会から情報収集し、動物の活用。また、色々なイベントを行っているが、情報が届いていない。SNSのシェアの仕方の検討を、できるところから始めてほしい。

委員

- 楽寿園の中長期的な観光戦略を練る必要があると思う。様々なKPI（重要業績評価指標）を設定する中で、情報発信のやり方や楽寿園内の消費額の動向を把握し、PDCAを回して事業に移していく。